

## 前略、市史編さん室より

## 市内の自然を調査！

今回は自然分野の中の植物について紹介します。指宿にはたくさんの植物が生育しています。その中には県が指定する保護が必要な指定希少野生動植物やレッドデータブック（絶滅しそうな生き物の種類・原因などをまとめた本）に掲載された絶滅の恐れのある植物もあります。

例えば、開聞地域の3分の1の面積を占める開聞岳には、海岸から924mの頂上まで環境に応じてさまざまな植物が生育しています。これまでの文献資料や記録によると、それらの植物の中には、指定希少野生植物の「クマガイソウ」、絶滅危惧種の「カヤラン」などの希少植物が生育しているとされています。「カヤラン」は、大正11年（1922）に開聞岳で生育を確認された記録がありますが、それ以降、標本で確実に確認できる記録はありません。このように、これらの植物が現在も開聞岳に生息しているのか不明のため確かめる必要があります。また、指定希少野生植物の「キバナノセッコク」や「ナゴラン」などの、新たな確認も期待されています。

このようなことから、市史編さん事業の植物の調査では、文献資料のとおり植物が分布・生育しているか、これまでの文献資料などに記録はない植物はないかなど、現在の自然の現状を確かめる視点で調査を進めています。

最後に、地域特有の植物の利用方法や呼び名（方言）、市内に分布する珍しい野生植物など知っている人はぜひ市史編さん室まで連絡してください。



クマガイソウ



カヤラン



ナゴラン



キバナノセッコク

かたのだ いつろう  
片野田 逸朗氏 撮影（指宿市史自然編集専門部委員）

問市史編さん室市史編さん係 ☎080-8210-1656

## いぶすきまるごと博物館

vol.216

枚聞神社では、毎年10月14日に前夜祭、15日に例大祭、16日に御神幸祭と豊年相撲が行われる「ほぜ祭り」が開催され、毎年たくさんの参拝客でにぎわいます。

鹿児島藩第10代藩主島津齊興の命により編さんされた『三国名勝図会』に枚聞神社の御神幸祭の様子が描かれており、200年以上前から続いていることがわかります。今回は、ほぜ祭りで奉納される郷土芸能を紹介します。

## 枚聞神社神舞

14日の前夜祭では「神舞」が奉納されます。力強く舞う男性の舞「剣之舞」「南方之舞」「中央之舞」「天鈿女命之舞」、女性の舞「浦安の舞」が伝えられています。かつては神社の氏子が舞手を務めていましたが後継者不足となり、昭和50年代から当時の



枚聞神社神舞 (中央の舞)

枚聞神社のほぜ祭り  
と郷土芸能

開聞町青年団が引き継ぎました。現在は、地元有志の皆さんが保存継承活動に取り組んでいます。また、舞手の面は江戸時代に作られたと考えられる貴重な物で、他の神楽面と合わせて枚聞神社宝物殿に展示されています。

## 開聞龍宮太鼓

前夜祭では開聞龍宮太鼓による和太鼓の演奏が奉納されます。設立は昭和55年、全国的なまちおこしの流れの中で、青年団が「開聞太鼓同好会」として和太鼓に取り組んだのが始まりです。開聞に伝わる竜宮伝説やお宮姫伝説などの神話・伝説を題材にした曲を創作し演奏しているのが魅力です。

また、和太鼓の響きで地域を元気づけたいという願いから、いぶすき菜の花マラソン・いぶすき菜の花マラソンでは参加者への激励のために沿道で演奏を披露するなど、さまざまな行事で活動されています。

開聞龍宮太鼓  
(平成元年 開聞岳の頂上で演奏)

問生涯学習課文化財係